

大石地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 29 年 4 月 22 日（土）15 時 00 分～15 時 40 分
- 開催場所 大石地域交流センター
- 次第
 1. 市長からの挨拶
 2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
 3. 土地利用計画について
 4. 今後の工事スケジュールについて
 5. 屋形遺跡について
 6. 大石地域交流センターの増築について
 7. 意見交換

(会長) 本日は、会場まで足を運んでいただき、ありがとうございます。先程説明にもありましたように、貴重な縄文土器や貝塚が出土したことから、致し方ないことかと思われま。また、(道路に係る) 地主との交渉が中々進まず、やっと話がまとまったようでございます。2、3日前からボーリング作業も始まっております。まちづくりが早く完成するよう、市職員の皆様には宜しくお願ひしたいと思ひます。本日はありがとうございました。

→ 現在ボーリング調査を行っており、そのデータを元に詳細な図面を検討していきたいと考えております。また、多くの貴重な御意見をいただきながら、進めてまいりたいと思ひますので、御協力の程宜しくお願ひいたします。

遊歩道は砂利道ですか。その変更はできますか。また、勾配はどの程度でしょうか。車で上られるよう調整するには、多くの変更箇所が生じるのではないのでしょうか。降雨時の流量等も教えていただきたい。

→ 遊歩道は砂利道で計画しております。アスファルトより砂利の方が、水の浸透率が高く、漁港側に水が流れにくくなると考えています。しかしながら、皆様から御要望をいただき、調査検討したうえで、工事を進めていきたいと思ひます。遊歩道を舗装にすることは可能ですので、あらかじめ御承知いただければと思ひます。

→ 地山通りであり、駐車場まで車で上がることは可能ですが、それ以上上がることは出来ません。大石地区に下る道路は、県道から下りた道路よりも傾斜がきつuitと考えられます。

→ 貝塚とを掘削しないよう調整しなければならず、現行の計画通り地山通りとなります。

→ 測量により高さや降雨時の流量を計測し、今後皆様に御説明いたします。

工事は工程表どおりに進むのでしょうか。

→ 30年度の春までに工事が終了する見込です。詳細設計が一部決定していない場所があり、決定後に用地買収を進めていく予定です。このことにつきましては、地権者様からも了承を得ております。

橋から川を工事する計画であり、対象場所のボーリングを行っているようです。しかしながら、河川断面が小さいことにより、全ての流水が暗渠に浸透せず、半年で壊れた経緯があります。今回も、直線状の川を作れば、同じ結果になると考えられます。設計者には、十分に御留意いただきたいです。

→ 分かりました。現場を確認し、設計に反映します。

→ 水の出所場所は、地元住民の方が詳しく把握している場合もありますので、御意見をとり入れながら計画してまいりたいと思ひます。

遺跡整備ですけど、早くやってもらわないと、地権者が困っているようだ。貝塚を見えるようにするのか。

➡ 遺跡の整備について、貝塚を見えるようにするのは良いのですが、遺跡保護との兼ね合いがあります。最良の方法について、専門家と協議しながら迅速に進

めていきたいと考えております。

遺跡の場所になにか展示するような建物は建築されますか。

→ 現時点では回答しかねます。また、鈴子にある釜石市郷土資料館では、大石地区で出土した物品を、常設展「貝塚パネル」により目立つよう展示しています。

遺跡を保存するとすれば費用は国の予算でまかなうのでしょうか。

→ 指定史跡となれば、国から補助金が交付されます。

石割桜について、市の保存等を認めてもらい、経費を出して欲しい。管理は地元で行いますので、よろしく願います。

→ 市の文化財審議会の委員の方々に、大石地区の石割桜を見て頂いたうえで、検討したいと考えております。少々お時間をいただければと思います。

(野田市長) 本日はこれにて終了となります。お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございました。復興事業につきましては、地域の皆様の御意見をいただきながら、お示したスケジュールどおり進めてまいりたいと思います。詳細内容は、皆様と都度相談させていただきながら進めてまいりますので、御協力の程よろしく願います。

貝塚の件につきましては、地面に掘った形を模型等により郷土資料館へ展示しております。今後も、詳細に形が分かるよう展示させていただきたいと思います。また、文化庁から非常に貴重なものと評価されておりますので、今後の研究、調査の展開を見守っていきたいと思います。いずれは郷土資料館だけでなく、大石地区における貝塚模型の設置場所も検討してまいりたいと思います。

学校教育の中でも、昔の生活を勉強する機会が多くありますので、こちらの貝塚に足をのばし、見学やホールでの授業を行うことができるよう検討したい思いがございます。地域の皆様と意見交換を行いながら、大石地区を今後の学校教育に活用できるよう検討していければ幸いです。

地域交流センターは避難場所、ホールは冠婚葬祭や様々な集会で使用可能となりますので、大いに御活用いただければと思います。

また、今年は石割桜が見事に咲きました。盛岡の石割桜より綺麗な感じがします。釜石市民でも、大石地区に石割桜があることを知らない方が多いです。そのため、石割桜につきましても、釜石市民に周知していければと考えております。大石地区は、町の中心から見ると釜石市のはずれにありますが、昔から豊かで歴史的に価値のある地区だと、貝塚を見ることにより感じる事が出来ます。このようなことを含めて、発信していきたいと考えております。

復興事業におきましては、学校もでき、ガントリークレーンという今までに無いクレーンが港に設置され、多くの意味で歴史的転換が始まる予定でございます。また、今年の4月から、平田地区に岩手大学水産学部大学院が設置され、来年度から学生が来る予定でございます。

少しずつ明るい兆しが見えてきておりますので、この流れを皆様にも実感していただけるよう努めてまいりたいと考えております。

そのためにも、復興事業を成し遂げていかなければなりませんので、今後とも御理解御協力の程よろしく願います。

本日は誠にありがとうございました。

(閉会 15 : 40)

以上